

研究協力についての説明書

1. 研究課題名：

自閉スペクトラム症者の内受容感覚に関する質問紙(Interoception Sensory Questionnaire)日本語版の作成

2. 研究対象者として選定された理由：

本研究では、16歳以上の青年・成人の方を対象としております。上記年齢の方のうち

- ・ 精神神経疾患を有していない方
- ・ 自閉スペクトラム症（広汎性発達障害、高機能自閉症、アスペルガー症候群含む）の特性があることが明らかで、それについて医療機関で告知を受けている方を対象としております。

説明内容および質問紙の意味が十分にご理解いただけた方のうち、調査へのご参加に同意いただける方からのご協力をお願いしております。

オンライン調査：本研究では、調査参加への同意ボタンによる確認と、回答の送信をもって、研究参加への同意が得られたものとします。20歳未満の方は、保護者の同意（代諾）を得た上で記入してください。説明の内容に不明な点がございましたら、実施責任者まで、遠慮なく御連絡ください。

研究室での調査：研究参加への同意を書面で確認のうえで、国立障害者リハビリテーションセンター研究所の研究担当者が調査を実施します。

3. 研究目的、意義、方法及び期間：

自閉スペクトラム症（以下はASDと略します）には感覚過敏・鈍麻といった特徴があることが知られていますが、これまでの多くの研究では視覚・聴覚・触覚といった身体外の感覚刺激に対する反応が調べられてきました。近年、ASDの方の身体の内部（内臓や血管など）の情報処理の特徴に対する注目が集まっています。我々は日常生活を送る上で、自身の身体の外側と内側の情報を組み合わせながら、常に情報処理をしています。ASDの方の感覚過敏・鈍麻の特徴を明らかにする上では、ASDの方の身体外部の情報処理だけでなく、身体内部の情報処理の特徴を調べるのが極めて重要です。

本研究は、①オンラインで質問にご回答いただく調査と、②研究室にお越しいただき質問にご回答いただく調査の2つの種類があります。①では、身体内部の感覚（内受容感覚）について尋ねる質問紙を含む3種類の自己記入式のアンケートに回答していただきます。②では、自閉特性、感覚特性、不安特性といった多様な感覚認知の側面につ

いて4つの自己記入式アンケートに回答していただきます。

本調査を通して、ASDの方の身体内部の感覚処理を定型発達の方と比較することで、ASDの方特有の身体内部感覚処理を明らかにします。研究期間は、令和3年9月から令和6年3月までを予定しております。本研究は、倫理審査委員会の承認、国立障害者リハビリテーションセンター総長、各共同研究機関の長(立命館大学学長、関西医科大学学長)の許可を得て実施します。本調査の結果は、集計後に広く公開される他、共同研究者を交えた分析の後、その結果を学会・論文として公表させていただきます。

4. 研究協力依頼内容

○オンライン調査

- ・ 質問への回答の所要時間は最長でも40分程度です。
 - ① ご自身の年齢、性別に関する回答(定型発達の方は7項目、ASDの方は8項目)
 - ② 身体内部の感覚処理について:日本語版ISQ(20項目)
 - ③ 身体感覚への気づきについて(1):日本語版BPQ-BA短縮版(26項目)
 - ④ 身体感覚への気づきについて(2):内受容感覚への気づきの多次元的評価(MAIA)日本語版(32項目)
 - ⑤ 自閉スペクトラム症傾向について:日本語版AQ(50項目)
 - ⑥ アレキシサイミア(失感情症)傾向について:日本語版TAS-20(20項目)

研究参加への同意の確認は、本研究説明書を通読の上で「同意ボタン」による確認に加えて、回答結果の「送信」をもって、調査研究に同意いただいたことと致します。得られたデータは完全に匿名であり、個人が全く特定できないかたちとなりますため、送信後の同意撤回は困難となります。ご了承ください。オンライン調査にご回答されても謝金は発生せず、ご回答をいただく際の通信にかかる費用をご負担いただきます。ご了承ください。のみご回答ください。

○研究室での調査

- ・ 質問への回答の所要時間は1時間半程度です。
 - ① ご自身の年齢、性別に関する回答(8項目)
 - ② 身体内部の感覚処理について:日本語版ISQ(20項目)
 - ③ 感覚特性について:青年・成人式感覚プロフィール(60項目)
 - ④ 不安について:STAI状態不安特性検査(40項目)
 - ⑤ 自閉特性について: AQスコア(50項目)
 - ⑥ 失感情症傾向について:トロント・アレキシサイミア尺度(20項目)

調査実施者が事前に研究内容を説明いたします。本研究説明書の内容と合わせて同意いただけた場合に、調査を実施いたします。論文や学会での本調査の結果の公表後の同意撤回は困難となることをご了承ください。研究室での調査にご参加いただいた場合に、謝礼として、規定額に従い1時間以上～3時間未満の場合4,310円（手取り3,870円）を調査の翌月に振り込みます。

5. 予想される協力者の不利益及びその対応

質問内容によっては、心理的に負担を感じることもあるかもしれません。答えづらい質問に関しては回答を拒否することができ、またいつでも回答を中止することができます。

6. 個人情報の管理方法（匿名化など）

オンライン調査で得られたデータは完全に匿名となり、得られたデータは国立障害者リハビリテーションセンターで保管します。収集されたデータを研究以外の目的に使用することはなく、分析の後、学会や学術雑誌、匿名のデータをホームページ等で発表、公表を行います。研究結果について外部機関（関西医科大学、立命館大学）の共同研究者と議論の際も、匿名データのみ共有致します。

研究室での調査で得られた個人情報は、研究実施場所である国立リハビリテーションセンターで保管します。プライバシーの保護・機密保持については厳重に取り扱います。収集したデータは研究以外の目的には使用せず、実験結果を学会や学術雑誌への発表・公表する際にも個人情報に該当する属性が記載されることはありません。研究結果について外部機関（関西医科大学、立命館大学）の共同研究者と議論の際も、公表時と同様に個人情報と紐付けのないデータのみ共有致します。

7. 当該研究の資金源、起こりうる利害の衝突（研究結果に関する特許権の利害等も含む）及び研究者等の関連組織（研究者の属する実施機関、研究班等）とその関わり

この研究は、国立障害者リハビリテーションセンターの運営費と科研費（特別研究員奨励費、課題番号21J01032、研究活動スタート支援、課題番号21K20311）で実施します。いかなる利害の衝突も想定されません。

8. 当該研究に参加することにより期待される利益、起こりうる危険及び必然的に伴う不快な状態並びにその対応

本研究は、ASDの方の身体内部感覚の処理の特異性を明らかにすることで、将来的な医療、福祉の向上に資することを目的に実施しております。今回の調査は、

治療面などの直接的な利益はありませんが、ASD 者の方の身体内部感覚処理の特性が明らかになることで、将来的な支援手法・対処方法の開発に貢献できる可能性があります。本研究での身体への危険性はありませんが、アンケート調査への参加を通じて、疲労感を感じることもあるかもしれません。適宜休憩をはさみながら、ご回答ください。

体調の不良や心理的負荷を感じた場合には、我慢せず速やかに中断してください。記入途中で中止いただいても問題はなく、それによりいかなる不利益を受けることもありません。

9. 個人情報取扱に関する苦情の申し出先

国立障害者リハビリテーションセンター
企画・情報部 企画課長 佐々木 薫
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1
TEL：04-2995-3100（内線 2140）、FAX：04-2995-3661、
E-mail：kikakurinnri@mhlw.go.jp

10. 研究内容についての問い合わせ先

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
脳機能系障害研究部 研究員 井手 正和
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1
TEL：04-2995-3100（内線 2585）、FAX：04-2995-3132
Email アドレス：ide-masakazu@rehab.go.jp

立命館大学
総合心理学部 教授 高橋 康介
TEL／内線：072-665-2212（内線 6010）
E-mail：k-tkhs@fc.ritsumeai.ac.jp

関西医科大学
リハビリテーション学部 准教授 松島 佳苗
TEL／内線：072-856-2312（内線 624）
E-mail: matsushk@hirakata.kmu.ac.jp

1 1. その他の確認事項

- 研究に参加することに同意しなくてもなんら不利益をうけることはありません。また一旦参加することに同意した場合でも、その同意はいつでも撤回することができ、回答中でも自由に取りやめることが可能です。本研究では、同意ボタンによる確認と回答の送信をもって、参加への同意をいただけたことと致します。データは完全に匿名であり、個人が全く特定できないかたちとなりますため、回答送信後の同意撤回は困難となります。また、研究室での調査にご参加いただいた場合でも、学会発表や論文での公表後は同意の撤回が困難となります。ご了承ください。
- 国立障害者リハビリテーションセンター学院，立命館大学，関西医科大学の学生が参加される場合，本研究参加の有無により，成績に影響することはありません。
- ご希望があれば，本研究計画書の送付（オンライン調査），あるいはお持ち帰り（研究室での調査）いただけますので，研究責任者にお伝えください。オンライン調査については，個人データの解析結果をお伝えすることはできませんが，研究室での調査の場合には，明らかになった個人データをご本人に開示，説明致します。ご本人に同意いただけない場合には，ご家族にも結果をお伝えすることはできません。ご了承ください。
- 本研究の成果は，学会，報告会，論文等において公表されます。また，根拠となるデータ(匿名)は，ホームページ等により広く公開されます。完全匿名データのみ取り扱っており，個人情報外部に公表されることは一切ありません。
- ご回答いただいたデータは，調査・研究・広報目的以外には使用せず，国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部に10年間保管します。研究成果として公開されるデータ以外は，10年後の時点で廃棄します。
- 研究内容についての質問・問い合わせ・ご意見がございましたら，井手正和(研究責任者)，共同研究機関の担当者までお申し出ください。

同 意 書

私は、下記の研究について、文書による説明を受け、十分にその内容を理解したので、この研究に協力することに同意いたします。

令和 年 月 日

氏 名 _____ 印

代筆者氏名 _____

(研究課題名) 自閉スペクトラム症者の内受容感覚に関する質問紙
(Interoception Sensory Questionnaire) 日本語版の作成

(研究責任者) 国立障害者リハビリテーションセンター
所 属 研究所 脳機能系障害研究部
氏 名 井手 正和

(説 明 者) 国立障害者リハビリテーションセンター
所 属 研究所 脳機能系障害研究部
氏 名 糸井 千尋

同 意 書

私は、下記の研究について、文書による説明を受け、十分にその内容を理解したので、この研究に協力することに同意いたします。

令和 年 月 日

被験者氏名

代諾者氏名

(続 柄)

(研究課題名) 自閉スペクトラム症者の内受容感覚に関する質問紙
(Interoception Sensory Questionnaire) 日本語版の
作成

(研究責任者) 国立障害者リハビリテーションセンター
所 属 研究所 脳機能系障害研究部
氏 名 井手 正和

(説 明 者) 国立障害者リハビリテーションセンター
所 属 研究所 脳機能系障害研究部
氏 名 糸井 千尋